

普及活動情勢報告（令和4年3月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

「土佐市ピーマンIoP研究会グループ」結成 ～ピーマン生産者間でハウス内環境データの共有を開始～



操作方法を熱心に聞く実証農家

2月25日、土佐市ピーマンIoP実証農家5戸が「土佐市ピーマンIoP研究会グループ」を結成しました。ハウス内環境データを共有し、お互いの栽培管理やハウス内環境の変化を学び教え合うことで、増収や省エネ等につながることを期待されます。

操作方法を聞いた実証農家は、「SAWACHIのグラフは直感的にわかりやすい。他の人とのリアルタイムの情報交換を待ち望んでいた」と好評価でした。

農業改良普及課は、今後もデータを活用した農業の普及に向けて取り組んでいきます。

昨年を振り返り今年の経営を考える ～サポートチームによる新規就農者のは場確認・面談を実施～



現地確認・面談の様子

2月24～25日、関係機関や農業委員等で構成する土佐市のサポートチームで、ピーマン等を栽培する新規就農者8人のは場確認および面談を行いました。

面談では経営実績に基づいた昨年の振り返りや、現在の営農状況と課題、次作の目標について共有しました。

新規就農者からは「昨年、初めて病気が出たので、病害虫対策を徹底したい」、「収益向上や雇用確保のために複合品目を検討したい」など経営改善のための具体策が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、個別指導を通じて新規就農者の経営安定に向けて支援していきます。

今年も完売を目指します ～小野営農組合がはちきん芋栽培の畝立作業を実施～



豊作を祈っての畝立作業

3月17日、いの町の小野営農組合がはちきん芋栽培の畝立作業を行い、組合員4人といの町等関係機関が参加しました。

小野営農組合は、昨年栽培したはちきん芋を直販所で完売しています。農業改良普及課は、直販所以外の販路や種芋の保存温度について情報提供しながら、次作に向けた支援を行ってきました。組合員からは「種芋保存は納屋ではダメだった」「ショウガの横穴はどうか」等意見が出されました。

農業改良普及課は、今後もいの町等関係機関と連携して小野営農組合のはちきん芋栽培の増収、完売に向けて支援します。

普及指導活動に対するご意見をいただきました ～普及推進協議会委員に普及指導活動に対する意見の聞き取りを実施～



委員さんに聞き取り中

2月28日に開催予定だった「第2回中央西地区農業改良普及推進協議会」を新型コロナウイルスの影響で、やむなく中止としたため、各普及指導員が委員に対し個別に、今年度の普及指導活動の内容や成果を資料に基づき説明し、活動に対するご意見を伺いました。

委員からは「新規就農者が順調に就農できるよう支援をお願いしたい」「経費が高騰しており、特に新規就農者は経営が厳しいので、補助金等手厚くして支援して欲しい」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も農業者や関係機関のご意見を聞きながら普及指導活動に取り組んでいきます。